

部 局	上下水道局 技術部	補 職	部長	氏 名	細川 重久
-----	-----------	-----	----	-----	-------

1. 部局の使命

上下水道事業の総合計画となる「第2次とよなか水未来構想」【計画期間：平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）までの10年間】に掲げた6つの将来像の実現に向け、上下水道施設の計画的かつ持続的な維持管理・改築更新および技術の継承を行いながら、私たちの暮らしや産業活動に欠くことのできないライフラインとしての機能確保を図ります。【掲げる6つの将来像を以下に示します。】

- 将来像1：「いつでも安心して利用できる水を供給します」
- 将来像2：「快適な暮らしとまちづくりを支えます」
- 将来像3：「災害に強い上下水道を構築します」
- 将来像4：「環境にやさしい事業を展開します」
- 将来像5：「次世代につなげるために経営基盤を強化します」
- 将来像6：「お客さまに満足していただける事業活動を実施します」

2. 使命を遂行するための取組み方針と、それに基づく取組みの総括

方針	取組みの総括
常に水を使い、水を流せる、安心安全な上下水道事業を継続するため、上下水道施設を計画的に点検、調査、修繕、改築更新を行うとともに、定期的な清掃など施設の持続に向け、適切な対応を行ってまいります。特に近年全国的に増加傾向である施設の老朽化に伴う事故や、災害時の被害を最小限とするため、スピード感を持って事業に取り組まなければならない、同時に強靱な施設を構築していきます。引き続き、浄水施設、下水処理施設、管路施設の進化を常に考え、実現していくため、技術を研鑽し、お客様の期待に応えてまいります。 （主な取組み） ○新たに水質基準項目となる有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）の水質を公表します。 ○継続的に上下水道施設の改築・強靱化を進めます。 ○自己水施設のあり方について方向性を示します。 ○口径3000mmの下水道管を供用し、大雨から豊中駅前などの地区を守ります。	【今年度末に記載】

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	高度な浄水処理技術と水質管理	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	（１）信頼性の高い水道水質検査を実施するため、設置後一定年数が経過した水質検査機器類を計画的に更新します。 ①水質測定器の更新【還元気化水銀測定装置】 （２）安全な水道水を供給するため、水道G L P（水道水質検査優良試験所規範）に基づく水道水質検査を実施するとともに、外部精度管理への参加と内部精度管理の実施、定期的な品質管理システムの見直しを実施します。 ①外部精度管理への参加【年2回（6月、9月）】 ②内部精度管理の実施【年1回（2月）】 ・水質44項目に対して実施する。 ③品質管理システムの見直し【4月～3月】 （３）水道水の安全性をさらに高めていくため、「水安全計画」に基づき、水源から蛇口に至るまでのあらゆる過程において、常に安全な水道水が供給できる体制を維持・向上させます。 ①「水安全計画」の運用及び見直し【年1回（3月）】 ②水質検査計画の運用 ・水質検査結果を毎月公表 ・上記の内、有機フッ素化合物（PF0A・PF0S）の水質検査結果は3か月に1回公表		
総合計画			
3-3-	(1) 安心して暮らせる市街地の形成を進めます		
基本政策			
0			

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	水道施設の継続的な維持管理と改築更新【重点】 （１）自己水施設の延命化および取水機能を維持することにより自己水を安定して確保します。 ①取水機能の維持 ・集水埋渠エアレーション【４月～３月】 ・猪名川取水機能保持業務【年2回（11月、2月）】 （２）更新時期を迎えている水道施設の設備等を更新します。 ①配水場土木改良工事（緑丘配水場）【４月～３月】 ②ポンプ設備更新工事（柿ノ木配水場）【４月～３月】 ③次亜塩素素注入設備更新工事他実施設計業務【6月～3月】 （３）施設の更新や維持管理について、計画を策定します。〔新規〕 ①水道施設整備計画の策定【４月～３月】 ・自己水施設のあり方について判断 ②浄配水施設の維持管理方針・点検整備実施計画【４月～３月】 （４）「豊中市鋳鉄管更新計画」に基づき、管路の更新を行います。〔新規〕 ①配水管敷設工事(三国1丁目外)【9月～1月】 （５）異形管に内面防食が施されていないダクタイル鋳鉄管（初期ダクタイル管）を優先に更新を進めます。 ①水道管路の更新【8.5km】 （６）効率的かつ効果的に漏水を防止するため、「漏水防止基本計画」に基づき、流量監視や漏水調査を実施します。 ①漏水調査 ・漏水の早期発見・修繕【11ブロック】 （７）健全な水運用を確保するため、「管路施設の点検整備実施計画」に基づく点検整備を実施します。 ①水道施設（管路付属設備）の点検整備【2,494基】 ②消防災害対応ドローンを活用した水管橋の点検【4月】	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
総合計画			
3-3- (1)	安心して暮らせる市街地の形成を進めます		
基本政策			
33	生活インフラ防災対策の強化		

No	当年度目標(当初設定)	実績			
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性		
3	下水道施設の継続的な維持管理と改築更新【重点】	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】		
	(1) 「ストックマネジメント計画」に基づき、下水道施設の改築更新、調査を行います。 ①下水道管路【詳細調査22.4km、簡易調査67.2km、改築更新2.8km】 ②庄内下水処理場・ポンプ場【老朽設備の改築更新：4月～3月】				
	(2) 下水道管路の予防保全や事故の未然防止を図るため、計画的な巡視点検を実施します。 ①巡視点検【新千里北町付近・夕日丘付近】 ・市全域で1巡目が完了し、今年度より2巡目を実施。				
	(3) 道路陥没防止のため、新しい「下水道取付管更新実施計画」に基づき、取付管を更新します。〔新規〕 ①下水道取付管更新【350箇所】				
	(4) 下水道管に起因する大規模な道路陥没を未然に防止します。 ①特別重点調査の結果を踏まえた対策を実施。【4月～3月】				
	(5) 「水質監視計画」に基づき、下水道の水質検査を実施し、必要に応じて指導を行います。 ①水質検査の実施【4月～3月】 ②立入検査の実施【64件】				
	(6) 猪名川流域下水道原田処理場を整備するとともに適切な運転と維持管理を行います。 ①計画的な施設整備【4月～3月】 ②適正な維持管理運営【4月～3月】				
	(7) 「大阪湾流域別下水道整備総合計画」の改定に伴い、「豊中市公共下水道事業計画」を変更します。【4月～3月】				
	総合計画				
	3-3- (1) 安心して暮らせる市街地の形成を進めます				
基本政策					
33	生活インフラ防災対策の強化				

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	施設の耐震化【重点】 (1) 地震時の被害を最小化するため、GX形・NS形継手管など耐震性の高い水道管路を敷設します。 ①管路の耐震化【9.4km】 (2) 地震時の被害を最小化するため、下水道管路の耐震診断を実施します。 ①診断業務【4月～7月】 (3) 災害時の復旧や管網の維持管理を容易にするため、配水小ブロック化を推進するとともに、バックアップ化を図ります。 ①配水小ブロック化【稲津地区】 ・全域44ブロックに対して43ブロックが完成。 (4) 地震時の被害を最小化するため、配水池から重要給水施設までの配水ルートの耐震化を進めます。 ①配水ルートの耐震化【災害医療協力病院1ルート】 ・計画30ルートに対して22ルートが完成。 ※完成済みの透析医療施設の内1個所は閉院。 (5) 「豊中市上下水道耐震化計画」に基づいた耐震対策を進めます。 ①寺内配水池送水管敷設工事【6月～3月】 ②「豊中市上下水道耐震化計画」を見直し重要施設の増加を検討【7月～3月】	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	総合計画		
	3-3- (1) 安心して暮らせる市街地の形成を進めます		
	基本政策		
	33 生活インフラ防災対策の強化		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
5	浸水対策【重点】	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	(1) 10年に1回発生する降雨(計画降雨51.1mm/h)が排除できるよう、新下水道計画に基づき雨水管等の整備を進めるとともに、浸水地域の被害軽減のため、浸水シミュレーションを用いた効果的な対策を行います。		
	①雨水バイパス管の設置 ・新免幹線(2期)【完成予定は令和8年(2026年)年12月末】		
	②雨水管の設置(継続実施) ・千里園地区での実施設計【4月～3月】		
総合計画			
	3-3- (1) 安心して暮らせる市街地の形成を進めます		
基本政策			
	33 生活インフラ防災対策の強化		

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
6	危機管理体制の強化	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	(1) あらゆる災害や事故に備え、迅速かつ的確に活動できるように、事象別の対応マニュアルに基づき、研修・訓練を定期的の実施します。また広域的な災害に備え、大阪府や近隣都市をはじめとする関係機関と連携を強化します。		
	①研修や訓練の実施		
	・研修や訓練の実施【4月～3月】		
	・水道の緊急時相互連絡管を用いた訓練【1月】		
②災害対応マニュアルの改訂【4月～3月】			
(2) 計画雨量を超える大雨に対応するため、庄内下水処理場等の設備の耐水化対策に取り組みます。			
①庄内下水処理場の耐水化対策【4月～3月】			
②ポンプ場の耐水化対策【4月～3月】			
・小曾根第1ポンプ場			
・小曾根第2ポンプ場			
・利倉ポンプ場			
・穂積ポンプ場			
総合計画			
3-3- (1)	安心して暮らせる市街地の形成を進めます		
基本政策			
33	生活インフラ防災対策の強化		

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
7	環境負荷の低減	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	(1) 環境負荷を継続的に低減するため、組織内に構築した環境管理体制を維持・向上させていきます。また、環境保全活動の内容とその効果を明らかにしながら、分かりやすく公表します。 ①環境活動の推進【4月～3月】 ②環境報告書の策定と公表【12月】 ③分流式污水管への雨天時侵入水調査 ・雨天時侵入水調査【上野西、向丘、緑丘、西緑丘】 ・穴あきマンホール蓋調査【向丘、緑丘、西緑丘】		
	(2) 令和4年度(2022年度)に実施した省エネルギー・再生可能エネルギー等の基礎調査などを基に、関係部局と連携し、具体的施策の実現に向けた取組みを進めます。 ①二酸化炭素削減方策の検討(省エネルギー)【4月～3月】 ・高効率設備等の導入 ・運転方法の効率化 ②再生可能エネルギー導入等の検討【4月～3月】〔拡充〕 ・太陽光・小水力発電等の導入 ・電力の地産地消の拡大		
	(3) 公共用水域の水質を保全するため、既存施設の適正な運転管理や高度処理の拡充を行い、放流水の水質を改善させます。また、適正な水質管理を明らかにするため、水質結果を公表します。 ①適正な運転管理【月2回(水質精密試験により放流水質を確認)】 ②水質結果の公表【年12回(毎月)】		
総合計画			
3-3- (1)	安心して暮らせる市街地の形成を進めます		
基本政策			
0			

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
8	合流式下水道の改善		
	(1) 合流式下水道からの雨天時放流水質を分流式下水道並みに改善するため、処理場内での滞水池の設置をはじめ、貯留管の設置や雨水吐室の改造等の増強を行います。 ①合流式下水道改善事業の完了に向けて、大阪府と事後評価に関する協議を行う【4月～3月】 ②滞水池など合流改善施設の適切な運転管理による水質管理【4月～3月】		
		【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
総合計画			
	3-3- (1) 安心して暮らせる市街地の形成を進めます		
基本政策			
	0		

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
9	人づくり・組織づくり	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	（１）技術や知識を保持・養成し、さらに次世代に継承するため、「豊中市人材戦略」に掲げるエンゲージメントの向上の観点も踏まえながら、「豊中市上下水道局人材育成計画」に基づき、OJTを主とする人材育成、各種研修への参加を推進します。		
	①実施プランに基づく人材育成【４月～３月】		
	・各課単位で修得すべき知識・技術等を明確にし、年度当初に担当業務に関する習得目標を定め、年度内に振り返りを行い、次年度へのステップアップを図る。（各職員と所属長による知識・技術の習得計画を作成／関連する他課業務内容の研修会等参加の設定／習得に向けたOJTの進め方の決定／資格取得の目標付け）。		
	・技術訓練フィールドを活用した実地研修		
（２）業務の効率化を図るため、「情報化推進計画」に基づき、新たなシステムの導入や既存システムの改良を行います。			
	①「情報化推進計画(ver. 7)」の運用【４月～３月】		
総合計画			
3-3-	(1) 安心して暮らせる市街地の形成を進めます		
基本政策			
0			

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
10	広報・広聴・啓発活動の充実	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	（１）上下水道事業に対する理解を深めていただくため、計画的に情報を発信するとともに、寄せられる意見や要望を評価・分析しながら、事業等に反映します。また、施設見学や出前講座など、お客さまと接する機会を設け、情報の共有化を図ります。 ①広報啓発活動の推進 ・上下水道モニター会議【年6回】 ・施設見学【前年度並みの人数（原田処理場で5,487人）を行う】 ・職場体験学習【10月～11月、3月】		
総合計画			
3-3-	(1) 安心して暮らせる市街地の形成を進めます		
基本政策			
0			

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
11	変革への取組み	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	(1) 事務のアップデート ①有機フッ素化合物 (PFAS) の水質検査の実施【4月～3月】 ②再生可能エネルギー導入等の検討 (電力の地産地消の拡大など) 【4月～3月】 ③施設の有効活用に関する検討 (寺内配水場小水力発電更新など) 【4月～3月】 ④広域化や民間活用の実施・検討【4月～3月】 ・池田市との水質検査機器の共同使用 ・吹田市との寺内配水場の共同化の検討(令和15年度以降実施) ⑤部内PTによる変革への取組み検討 (随時) ⑥契約業務の適正化について検討 (4月～3月)		
	(2) DXの推進 ①DX技術を活用した施設の点検【4月～3月】 ・衛星を活用した漏水調査の実施 ②タブレット端末の現地使用により、現場での資料確認、作業完結など事務を効率化します。 ・水道維持管理業務での活用 ・下水道維持管理業務での活用		
総合計画			
3-3- (1)	安心して暮らせる市街地の形成を進めます		
基本政策			
0			

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
1	高度な浄水処理技術と水質管理		(1) 水質測定器の更新（継続して実施） (2) 品質管理システムの見直し（継続して実施） (3) 水道G L P 審査（令和8年度（2026年度）、令和10年度（2028年度）） (4) 「水安全計画」の運用及び見直し（継続して実施）	
	(1) 更新時期を迎える検査機器類を計画的に更新します。			
	(2) 信頼性の高い水質検査を実施します。			
	(3) 水源から蛇口までの総合的かつ一貫した水質管理を行います。			
総合計画				
	3-3- (1)	安心して暮らせる市街地の形成を進めます		
基本政策				
	0			
2	水道施設の継続的な維持管理と改築更新		(1) 自己水施設のあり方について判断（令和9年度（2027年度）） (2) 水道（管路、配水場の設備など）の更新（継続して実施） (3) 漏水調査（継続して実施） (4) 水道施設の点検整備（継続して実施） (5) 豊中市铸铁管更新計画に基づく管路更新（継続して実施）	
	(1) 自己水あり方に関する内部検討、令和9年度（2027年度）に策定する水道施設整備計画での検討を踏まえて自己水施設のあり方について方向性を示します。			
	(2) 更新時期を迎えている配水池や管路等の施設を計画的に改築更新します。			
	(3) 効率的な漏水防止対策を行い、経営の安定化・施設の維持管理水準を向上します。			
	(4) 引き続き、管路施設の効率的、合理的な点検・整備を行います。			
	(5) 衝撃に弱く経年化している铸铁管を更新します。			
総合計画				
	3-3- (1)	安心して暮らせる市街地の形成を進めます		
基本政策				
	33	生活インフラ防災対策の強化		

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
3	下水道施設の継続的な維持管理と改築更新 （１）適正な維持管理により、事故の未然防止を図るとともに、改築更新が必要な施設については、優先順位をつけて計画的に長寿命化対策および更新を行い、ライフサイクルコストを低減します。 （２）庄内下水処理場について、関係機関と広域化を含めた協議を行うとともに、課題の抽出や効果につき検討を進めます。 （３）道路陥没の主たる原因となる老朽化した下水道取付管を計画的に更新します。 （４）下水道施設への負荷を低減するため、事業場の排水について指導を行います。 （５）継続的な巡視点検と清掃を行い、管路施設の適正な維持管理を行います。 （６）猪名川流域下水道の適正な処理場運営を行います。		（１）管路施設、処理場・ポンプ場施設の改築更新（継続して実施） （２）庄内下水処理場の広域化を含めた再構築の検討（継続して実施） （３）取付管更新（継続して実施） （４）水質検査、立入検査の実施（継続して実施） （５）巡視点検（継続して実施） （６）猪名川流域下水道の適正な処理場運営（継続して実施）	
	総合計画			
	3-3- (1)	安心して暮らせる市街地の形成を進めます		
	基本政策			
	33	生活インフラ防災対策の強化		
4	施設の耐震化 （１）災害時にも上下水道としての機能が損なわれないように、計画的に管路施設や構造物等の耐震性を向上させます。 （２）被害を受けた場合の影響を最小限に留め、また、速やかに復旧ができるように、引き続き、災害に強い管網システムを構築します。 （３）計画に位置付けた重要施設へ接続する上下水道管や処理場など急所施設の耐震化を進めます。		（１）上下水道施設の耐震化（継続して実施） （２）配水小ブロック化（～令和9年度（2027年度）） （３）「豊中市上下水道耐震化計画」の運用及び見直し（継続して実施）	
	総合計画			
	3-3- (1)	安心して暮らせる市街地の形成を進めます		
	基本政策			
	33	生活インフラ防災対策の強化		

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
5	浸水対策 （１）10年に1回発生する降雨（計画降雨51.1mm/h）への対応を目指し、新下水道計画に基づき雨水管等の整備を進めるとともに、浸水地域の被害軽減のため、浸水シミュレーションを用いた効果的な対策を行います。		（１）雨水管の設置（継続して実施）	
	総合計画			
	3-3-（1）	安心して暮らせる市街地の形成を進めます		
基本政策				
	33	生活インフラ防災対策の強化		
6	危機管理体制の強化 （１）水道の相互連絡管を用いた訓練を行います。		（１）水道の相互連絡管を用いた訓練（継続して実施） （２）研修や訓練の実施（継続して実施）	
	総合計画			
	3-3-（1）	安心して暮らせる市街地の形成を進めます		
基本政策				
	33	生活インフラ防災対策の強化		

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
7	環境対策		(1) 環境活動の推進、環境報告書の公表（継続して実施） (2) 下水処理場の適正な運転、環境に関する調査・検討（継続して実施） (3) 不明水対策（継続して実施）	
	(1) これまでの環境対策を引き続き推進していくとともに、環境への取り組みをより分かりやすく公表します。 (2) 民間事業者との連携や新技術の導入等も視野に入れながら、上下水道が一体となった新たな環境対策について検討を行います。 (3) 下水道管路施設（分流污水管）に侵入する不明水の調査・監視を行い、一定量の侵入水が確認された場合、対策を実施します。			
	総合計画			
	3-3- (1)	安心して暮らせる市街地の形成を進めます		
基本政策				
	0			
8	合流式下水道の改善		(1) 大阪府と事業完了に向けた協議（継続して実施）	
	(1) 雨天時に合流式下水道から流出する未処理下水やゴミ等を削減する改善対策を進めます。			
	総合計画			
	3-3- (1)	安心して暮らせる市街地の形成を進めます		
基本政策				
	0			

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
9	人づくり・組織づくり		(1) 人材育成計画に基づく実施プランの運用 (継続して実施) (2) 技術訓練フィールドを活用した人材育成	
	(1) 上下水道局における技術・知識の継承を図るため、人材育成計画を具体化した実施プランに基づく人材育成に取り組むとともに、計画的かつ効果的な研修を進めます。			
	(2) 事業の継続に必要な人材を確保し、水道事業および下水道事業における職員の人事交流を図りながら人材の育成を行います。			
	総合計画			
	3-3- (1)	安心して暮らせる市街地の形成を進めます		
基本政策				
	0			
10	広報・広聴・啓発活動の推進		(1) 施設見学 (継続して実施) (2) モニター会議 (継続して実施) (3) 職場体験学習 (継続して実施)	
	(1) お客さまと直接対話できる機会を多く持ち、お客さまから寄せられた意見や苦情、ニーズなどを的確に把握・分析し、事業等に反映させます。			
	(2) 上下水道事業に対する理解をより深めていただけるよう、分かりやすい情報提供を行います。			
	(3) お客さまと情報を共有しながら、お客さまとともに作り上げていくことができるような事業をめざします。			
	総合計画			
	3-3- (1)	安心して暮らせる市街地の形成を進めます		
基本政策				
	0			

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など			スケジュール(工程)	
11	変革への取組み			(1) 環境に関する調査・検討、適正な運転管理（継続して実施） (2) 施設、資産の有効活用についての検討（継続して実施） (3) 広域化や官民連携策の実施・検討（継続して実施） (4) 多様なDX技術活用の調査・検討（継続して実施） (5) 歳入の拡大について検討（継続して実施）	
	(1) 変革を通じて財源およびサービス・生産性の向上を創出（強化）し、発展・成長を支え、促進します。				
総合計画					
	3-3- (1)	安心して暮らせる市街地の形成を進めます			
基本政策					
	0				